

事業所における自己評価表（児童発達支援事業）

社会福祉法人 黒松内つくし園
南後志児童デイサービスセンター

◇評価期間 平成 30 年 9 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日

◇公表日 平成 31 年 3 月 11 日

◇配布数 6 件、回収数 6 件、回答率 100%

*工夫している点、課題や解決すべき点については、原文のまま掲載しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	0	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設が古く、部屋や廊下も狭く、子どもたちが思い切り走れない。 ・ 3 町村どこで療育するにも限られた空間で、できることをやっている状態。 ・ 現在の建物は適切とは言えない。 	<p>現在、利用している建物は生活寮として建てられたため、南後志児童デイサービスとしての利用には適切とは言えません。今後、黒松内町については、建物の老朽化や療育の充実を目的とし、新しい建物（新築か移転については不明）への意向を検討しています。</p> <p>寿都町、島牧村については、療育道具の移動等限られてきますが、その中で質の高い療育を目指していきます。</p>
	②	職員の配置数は適切であるか	2	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今以上に利用者が増えたり、職員の入れ替えがあったら対応できないと思う。 ・ 職員が 1 名プラスされたため、現在は適切だと思う。 	<p>今年度より職員が 1 名加わり、4 名での体制となりました。今後も 4 名体制を維持し、より質の高い療育が行えるように努力していきます。</p>

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境 ・ 体制 整備	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また本人の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0	0	6	<ul style="list-style-type: none"> 2階への階段が急で子どもたちがとても危険です。 旧つくし寮内にはポスターを貼る等している。 元々、この事業のための建物ではないので、設備やバリアフリー化はされていない。(階段は特に) 	<p>事業所の設備やバリアフリー化等については、先に記述した通りですが、黒松内町では職員間で特に注意しているのが入り口に階段です。今後も事故がないように十分注意していきます。</p> <p>事業所内には、利用されているお子さんが描いてくれたポスター等を掲示しています。今後も作品やポスター等、掲示していきますのでご覧ください。</p> <p>寿都町、島牧村の方へは、お便りを通してお知らせします。</p>
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	0	1	5	<ul style="list-style-type: none"> 建物が古くて狭い。 子どもたち向けに作られた施設ではない。清潔を保てるように、療育前には室内の確認はするが、他町村の施設も使うため十分ではない。 掃除等で整えていると思うが、上記同様、建物の関係で心地よいとは言えない。 	<p>掃除は定期的に行っています。しかし、建物の老朽化等に伴い、不快と感じられることもあるかと思いません。</p> <p>寿都町、島牧村においては、公共の施設を利用しているため、清掃は行き届いていると思われます。</p>
業務 改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 広く職員が参画とは、どこまでのレベルを指すのかわからないが、少なくとも職員同士には共有されている。 	<p>今年度より職員が1名加わったことで、職員個人の負担軽減になったことは1つの業務改善になったと思います。今後も、より質の高い療育を目指して取り組んでいきたいと思っています。</p>

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
業務 改善	⑥	保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	5	1	0		評価表については、今年度より公表させていただきます。今後は、保護者の皆様からいただいたご意見と事業所の意見を踏まえ、業務改善につなげていきます。 また、その内容についても適時お便り等で保護者の皆様にはご連絡させていただきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	4	1	・ ホームページ等の公開については行っていません。	今年度より、評価表を社会福祉法人黒松内つくし園ホームページと南後志児童デイサービスセンターのお便りで公開させていただきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	1	4	・ 外部評価を受けているのかがわかりません。	第三者による外部評価については、行っていません。今後、検討していきます。
	⑨	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	・ たくさんの研修案内があり、行くことができ、勉強になっている。 ・ 十分とは言えないが可能な範囲で機会は与えている。	職員の資質向上の目的として、外部研修は最低でも職員1人に対して年1回参加しています。他にも、しりべし学園で行われる施設内研修へ月1回参加し、虐待防止などの研修を行っています。
適切な 支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	2	0	・ 職員が明確なニーズをとらえきれない保護者もいると感じる。 ・ 保護者にも確認し適切に作成していると思います。	現在、南後志児童デイサービスセンターでは、決められたアセスメントツールは使用していません。しかし、それでは職員個人の主観も入ってきてしまうため、客観的な視点からアセスメントを行い、計画を立てていく目的からも、今後導入を検討していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントツールがない。 標準化されたツールを使用しているかはわからない。 	上記同様、決められたアセスメントツールはなく、お子さんの個別支援目標については、職員のアセスメントと保護者の希望を合わせて設定しています。今後は、標準化されたアセスメントツールの導入を検討していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	2	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 行われていると思う。 	上記同様、決められたアセスメントツールはなく、お子さんの個別支援目標については、職員のアセスメントと保護者の希望を合わせて設定しています。目標としては不十分な内容ではないと考えますが、目標への導き方を統一する目的として、今後は標準化されたアセスメントの導入を検討していきます。
	⑬	児童発達支援に沿った支援が行われているか	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 行われていると思う。 	支援に関しては、支援計画に基づいて実践をしています。その中で、お子さんに楽しんで活動してもらい、成長のサポートができるように課題を工夫しながら行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 担当が作るが、他の職員も見ている。 相談したりするが、個人で活動内容を決めることがほとんどである。 行われていると思う。 	活動プログラムの立案は、各担当で行っています。しかし、他の職員へも課題の情報提供を行い、共有することで療育の質を上げることが心掛けています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 行われていると思う。 	療育道具が少ない中、職員は課題が重ならないように手作りで用意もします。お子さんが楽しく療育に参加できるように工夫をしていきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
適切な 支援 の 提供	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 未就学児は保育園を利用している子が多く、年齢もまちまちで、放課後デイサービスに比べると人数も少ないため、集団の設定は難しい。 行われていると思う。 	現在、児童発達支援で小集団療育を組んでいるお子さんはいません。人数や年齢も合わせて今後も組むことができたら検討していきます。
	⑰	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 必ずではないが支援内容を相談している。 確認していると思いますが、全て把握はできていない。 	各担当の療育開始時間が異なるため、全員揃うことがあまりないのが現状です。その中で、職員間でのコミュニケーションはとれていますが、全員が情報を共有できるように、伝達方法を考えていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 支援の方法、子どもの様子等を先輩たちに相談している。 確認していますが、把握はしていない。 	上記同様、各担当の療育終了時間も異なります。場合によっては就業時間以降にも対応することもあるため、決まった時間での打ち合わせは設けていませんが、空いている時間を見つけて職員間で情報を共有しています。
	⑲	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	3	0	<ul style="list-style-type: none"> 記録はしているが、検証・改善はわからない。 	記録に関しては、正しく、第三者が見てもわかりやすく残すことを心掛けています。記録は、お子さんごとにまとめており、支援の検証や改善をする時にも利用しています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3	0		南後志相談支援センターを利用されている方が多いと思います。モニタリングの際に、児童デイの職員も参加させてもらっています。その計画をもとに、南後志児童デイサービスセンターの支援計画にも反映しています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	障害児相談事業所サービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	1	・ していると思う。	療育やカンファレンス等が入り、担当者が参加できないこともあります。できる限り担当者が参加できるように調整をしています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	0	・ していると思う。	あらゆる分野からサポートを行う目的で、関係機関との連携はとても大切になります。不十分と思われるところもありますが、限られた資源の中で今後も密に連携を図れるようにしていきます。
	㉒	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	0	・ していると思う。	上記同様、限られた資源の中で今後も密に連携を図れるようにしていきます。
	㉓	子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	3	0		必要に応じて、南後志児童デイサービスセンターからの情報提供も行っています。
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の状況共有と相互理解を図っているか	5	1	0	・ 会議を開いているため子どもの普段の様子がわかる。	カンファレンス等、機関によってできているところと、そうでないところがあります。どの機関とも、定期的に情報共有の場が設けられるように、今後調整していきます。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2	0	・ カンファレンスを開いている。	就学を控えたお子さんに対しては、児童デイサービスセンターからも情報提供を行っています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	2	<ul style="list-style-type: none"> 機会があれば研修に行きたい。 他の施設を見学したいです。 	道立支援、専門支援事業で専門職のスタッフからのアドバイスを受けています。他の事業所との連携や交流が少ないと思われ、今後は色々な機関との連携を行っていききたいと思います。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流する機会があるか	1	2	3		ほとんどのお子さんが、保育園に通われています。保育園を利用されていないお子さんについては、南後志児童デイサービスセンターとして保育園等と交流する機会は設けていません。
	㉒	(自立支援)協議会や子ども部会や地域の子ども・子育て支援会議等へ積極的に参加しているか	5	1	0		いくつかの協議会への参加はありますが、現場レベルでの協議はできていないように感じます。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 連絡ノートや口頭で療育の様子等を伝えている。 保護者により密に連絡をとれている人とそうでない人がいることが課題である。 細目に連絡をしていると思う。 	保護者の方との連絡の取り方は、そのご家庭によって様々です。直接連絡が難しい方は、ノートやメールを使い場合もあります。お忙しいご家庭が多いので、細かく伝えられていないこともあるかと思います。今後は、療育の様子を写真に撮り見ていただく等、密に連絡が取れるように検討していきます。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 伝えなくてはいけないことは、伝えていかななくてはいけないが、難しいと感じる。 アンガーマネジメントの研修。 	南後志児童デイサービスセンターでは、保護者の方向けのアンガーマネジメント等の研修を行ってきました。しかし、保護者の皆さんから希望を伺ったテーマではなかったため、今後は皆さんが希望される研修をテーマにしていけたらと考えています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
保護者への説明責任等	③②	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	0		利用開始時や毎年年度初めに説明をさせていただいています。継続して利用される方については、説明を省略してしまうこともあり、今後は丁寧な説明を行っていきます。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	2	4	0	<ul style="list-style-type: none"> 目標設定後は説明と同意を得ているが、ガイドラインに基づいた計画にはなっていない。 実態がわからない。 	事業所内から、ガイドラインを良く把握できていないという意見があり、再度職員は確認をしています。しかし、ガイドラインが当事業所と完全に合致するものではなく、合う部分を選び取り組んでいきたいと思えます。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 相談しやすいような雰囲気作りも大切だと思っている。 どの位の内容で定期的といえるのかはわからないが行っていると思う。 	お忙しい保護者の方も多く、連絡ノートやメールでは引継ぎ等の不足もあり全て行えていないと思えます。今後は、連絡ノートやメールでも、できるだけ保護者の方との意見交換がしやすい環境を考えていきたいと思えます。
	③⑤	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	1	<ul style="list-style-type: none"> レク等で周知しているが、来る人が決まっている。 行事でなるべく親同士の交流が図れるよう内容の設定はしているが不十分と感じる。 行事（海遊び等）は行っている。 	南後志児童デイサービスセンターでの保護者会はありませんが、行事等を通して、お子さん、保護者の方の交流の機会を設けています。ご都合が合わなく、参加されるご家族は限られていますが、今後も少しでも多くの方々が参加できるようにご案内や調整をしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
保護者への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	3	0		基本的に、各担当職員が対応することになりますが、上司には必ず報告する体制をとっています。各担当職員で対応が不十分と思われる際には、上司にも参加してもらっています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	0	・ おたよりを月1回出している。	お便りを通して、活動内容や行事の案内等を連絡しています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	0		個人情報については、今後も十分注意して取り組みます。
	③⑨	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	3	0	・ 連絡ノートの活用。必要に応じて手紙を書くこともある。	直接会って引継ぎができない保護者の方については、連絡ノートやメールなどを使い、活動内容を伝えるようにしています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	3	・ 分校の先生にはボランティアに来てもらうことはあるが、地域住民は招待していない。	南後志児童デイサービスセンターの行事の際には、地域住民の方を招待することは行っていないですが、社会福祉協議会を通してボランティア要請を行っています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1	0	5	<ul style="list-style-type: none"> 保護者には周知していない。 児童デイサービスセンターで行っているか不明。 	南後志児童デイサービスセンター独自のマニュアルはなく、しりべし学園本体のマニュアルを活用しています。しかし、しりべし学園本体とは事業が異なる面が多いため、南後志児童デイサービスセンター独自のマニュアル作成を検討していきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	2	0	4	<ul style="list-style-type: none"> 今回の地震の影響で、停電になってしまったため、停電が長引いてしまった時等の準備、マニュアルが必要。 児童デイサービスセンターで行っているか不明。 	しりべし学園本体と一緒に火災、地震を想定した訓練を行っています。南後志児童デイサービスセンターとしても、お子さんが利用されている時の訓練等も検討していきます。また、今回の北海道東部地震を教訓に、できることへの対応を進めていきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	2	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 申告書があるのかわからない。 	利用開始時に、お子さんの状況の確認は行いますが、定期的に確認することは不十分なため、今後書類などの整備を行い、定期的に確認する体制をとっていきます。
	④④	食べ物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	2	4	<ul style="list-style-type: none"> 利用している児童にアレルギーがあるかどうかわからない。 保護者から伝えられ配慮することはある。 これからもアレルギーの有無は確認する。 	アレルギーに関しては、現在利用されているお子さんでも食べられない物があったりします。医師の診断書がある方はもちろんですが、ご自宅で気を付けている食べ物等、再度確認する機会を設けたいと思います。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や解決すべき点	改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
非常時の対応	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	1	4	・ ヒヤリハットを事務所に置いて欲しい。	南後志児童デイサービスセンターでは、ヒヤリハットの活用が十分ではないため、今後整備して情報共有できるようにしていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	0		施設内研修で、年1回は必ず研修を受けるようにしています。また、外部研修へも機会があれば参加します。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか	2	3	1	・ 今のところ身体拘束が必要になる利用者はいないが、万が一そういった対応が必要になっても施錠等は難しいと思う。	現在、身体拘束が必要となる場面はなく、今後も行う機会はないと考えています。もし、仮に行わざる得ない場合は、事前に保護者の方と十分に協議をしたうえで、一連の過程を踏み実施します。